

令和4年度 学校教育自己診断 分析

生徒 (阪南高校に入ってよかった) 肯定率 80%
保護者 (阪南高校に入学させてよかった) 肯定率 88%

生徒・保護者とも肯定率は80%あり、満足できる学校生活であったと推察できる。学習・行事・部活動の三本を柱に生徒が学校生活を充実できる学校であり続けたい。

保護者 (学校は家庭への連絡や意思疎通をしっかりと行っている) 肯定率 72%
教職員 (必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。 肯定率 85%

新型コロナが常態化しており、保護者が来校する機会が減少したことが要因と推察できる。引き続き、保護者や地域の方々としっかり両手をつなぎ、その真ん中に生徒がいる学校にしていきたい。

(授業関連)

肯定率 生徒 77% 教職員 74% 保護者 63%

昨年度に比べ、教職員の肯定率が下がった。ICTの活用に差があることが要因と推察できる。次年度はリーディングGIGAハイスクールの対象校となったので、授業見学などを通して、ICTの活用を含めた授業力向上を図っていきたい。

(進路関連)

肯定率 生徒 81% 教職員 83% 保護者 62%

有名私立大学への合格者も増えてきている。一般入試まで頑張る生徒が一人でも増えるように、進路指導を継続して行っていく。

(人権教育関連)

肯定率 生徒 80% 教職員 88% 保護者 66%

今年度は、人権教育委員会と教育相談委員会を緩やかにリンクさせ、生徒の情報共有に努めた。SCやSSWとの連携も例年以上に密になることができた。